

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和3年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室含む)
指定管理者名	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立市民福社会館条例
施設の設置目的	社会福祉の総合的な推進及び社会福祉活動の育成発展を図り、もって市民福祉の増進に資するため
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あじさい会館(中央区富士見6-1-20) ホール、講習室、大和室、第1和室、第2和室、第3和室、ボランティア活動室、談話室 第1展示室、第2展示室</li> <li>●あじさい会館南分室(南区相模大野6-22-1 南保健福祉センター内) 高齢者交流室、談話室、情報交換ルーム、ボランティア活動室</li> <li>●あじさい会館緑分室(緑区西橋本5-3-21 緑区合同庁舎内) 高齢者交流室、談話室、情報交換ルーム、ボランティア活動室</li> </ul>
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人) (あじさい会館)	151,654	147,195	128,499	44,101	63,048		
貸館率(%) (あじさい会館)	49.4	47.4	49.4	41.5	33.6		
利用者数合計(人) (あじさい会館南分室)	20,220	20,806	17,280	6,729	11,376		
貸館率(%) (あじさい会館南分室)	45.5	48.2	44.1	38.6	38.7		
利用者数合計(人) (あじさい会館緑分室)	13,725	16,617	15,301	5,261	8,154		
貸館率(%) (あじさい会館緑分室)	34.7	39.6	42.5	31.1	32.7		
利用料金合計(円)	13,914,166	15,166,119	12,410,750	4,977,584	8,119,147		

※令和3年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために施設の利用を休止した期間  
令和3年8月6日～9月30日 計56日間

### 3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>C</b>	<p>・成果指標の達成度は89.2%となり、評価基準により「C」評価とする。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用の中止や利用自粛を受け、利用実績が低下したことは止むを得ないものとする。今後は、感染症拡大防止対策を徹底しつつ、市民の福祉活動の拠点として、さらなる利用拡大に努めていただきたい。</p> <p>※令和2年度の委員会における「新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館の影響を考慮した成果指標の算出方法の検討が必要」との意見を踏まえ、令和3年度の実績値についても開館日数に応じた数値を算出した。</p> <p>1,754回(実際の利用回数)×358日(条例上の開館日数)÷302日(R3年度の開館日数)=2,079回</p> <p>・「条例上の開館日数」は年末年始7日間の休館日を除いた日数</p> <p>・「R3年度の開館日数」は条例上の開館日数358日からコロナの影響による施設の利用休止期間56日間を除いた日数</p>

指標							
指標名（単位）	福祉団体の利用回数(単位:回)(南分室及び緑分室を除く)						
指標式と指標の説明	福祉利用施設の利用回数+福祉団体の一般利用施設の利用回数 あじさい会館を拠点とした福祉活動の推進利用状況を評価するための指標						
項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（回）	2,140	2,150	2,310	2,320	2,330	2,340	2,350
実績値（回）	2,324	2,100	2,223	2,142	※ 2,079		
達成度（%）	108.6%	97.7%	96.2%	92.3%	89.2%	0.0%	0.0%

### 4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	<p>・達成度が100%となることから、評価基準により「A」評価とする。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業を中止せざるを得ない状況ではあったが、「あじさい会館の日」イベント事業やロビー展示を、時機を捉えて実施したことは評価する。今後も施設の活性化や福祉の啓発活動等につながるような事業の実施に取り組んでいただきたい。</p>

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
なし			

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
なし			

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
あじさい会館の日・世界アルツハイマーデー啓発事業	3月	世界アルツハイマーデー啓発月間(9月)に予定していたホールでの映画会や認知症理解促進を目的とした事業は、緊急事態宣言発令に伴うあじさい会館施設利用休止のため中止とし、映画会のみ日程を変更して実施した。	○
ロビー展示	通年	福祉団体の作品展、NPO団体等の活動紹介パネル展、ボランティア活動等啓発パネル展、介護写真展等をロビーで実施した。	○

## 5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者満足度調査の達成度が108.1%となり、評価基準により「A」評価とする。</li> <li>・前年度と比較し、実績値が上昇したことは評価できる。また、特に、職員の接遇や施設の清掃状況に対する満足度は高く、丁寧な市民対応や施設を清潔な状態に保っていることは非常に評価できる。引き続き、サービスの向上に努めるとともに、利用者の意見・要望に耳を傾け、満足度の向上に努めていきたい。</li> </ul>

### 利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期: 令和3年12月15日～令和4年1月14日 回答者数: 1,012人
目標値の基準	利用満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値（%）	97.0	96.3	97.4	96.8	97.3		
達成度（%）	107.8%	107.0%	108.2%	107.6%	108.1%	0.0%	0.0%

### その他の取組

取組事項	時期	取組内容
なし		

## 6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>S</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本体事業収支、全体収支ともに黒字であり、団体本体の経営状況についても特段の問題がないため、評価基準により「S」評価とする。</li> <li>・令和元年度と比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入が減少しているが、回復傾向にあるほか、市からの協力金・補助金の交付等により全体の収入は増加した。また、人件費の圧縮等の努力により支出を抑え、全体収支を黒字化したことは評価できる。</li> </ul>

### 施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入（a）	105,731	104,902	108,428
指定管理料	92,090	93,036	92,604
利用料金収入	13,004	4,978	8,119
その他の収入	637	6,888	7,705
支出（b）	111,458	110,581	107,365
人件費	25,847	24,207	20,308
本社管理経費	0	0	0
その他の支出	85,611	86,374	87,057
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	-5,727	-5,679	1,063
自主事業収入 (d)	346	0	109
自主事業支出 (e)	749	79	181
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	-403	-79	-72
全体収支 【(c)+(f)】	-6,130	-5,758	991
備考	その他の収入として、協力金5,300千円、コロナ対策事業補助金1,768千円が市から交付 その他の支出の増額は、コロナ対策事業補助金を活用した消耗品・備品購入等の支出によるもの		

### 団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和4年2月28日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	加点事由あり(下記のとおり)
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	現金管理において、1日に複数回金額確認をしており、適正かつ厳重な管理が行われていることから加点するもの。	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	なし

## 9 指定管理者の自己評価

令和3年度においては、外壁等改修工事が施工され、施設利用者等市民の方々にご負担を掛けるなかでも「満足」「おおむね満足」との評価をいただいた。

昨年度も新型コロナウイルス感染症による影響による生活困窮者等への経済支援策に関する来館者及び会館管理事務室への電話問い合わせが多くある中で、受付・警備スタッフを中心に、担当課窓口及び連絡先等の的確な案内に努めた。

利用施設の改善については、老朽化に伴う各種設備の要修繕箇所が多くある中で、来館者等の安全確保を優先として、消防設備の修繕を推進した。

## 10 所管課意見

- ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、5・6日間にわたり施設の利用を休止したほか、年間を通じて市が実施した外壁・屋上防水改修工事や冷温水発生機更新工事などが施設の運営に大きく影響を及ぼしたが、指定管理者として利用者等に対し丁寧に周知を行い、大きなトラブルが発生することなく運営できたことを高く評価する。また、このような状況下においても、利用者満足度調査において目標の達成を継続していることは、日頃から利用者の意見や要望を取り込みながら運営できていることの表れであるものと考えられる。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による団体活動の休止や社会情勢の変化等に伴い、施設の利用者数がコロナ禍前の水準には戻っていない。特にホールの利用が落ち込んでいることから、今後は感染症対策を徹底した上で、ホールを活用した自主事業の充実や積極的な施設PR等により、新たな利用者の獲得に努めていただきたい。

## 11 選考委員会意見

- ・成果指標については、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、施設の設置目的達成のため、今後、特に高齢者や障害者を支援する団体の利用を伸ばす必要がある。より利用しやすい施設となるよう設備を充実したり、施設のPRに努めていただきたい。
- ・利用者満足度調査において高い満足度を継続していることは評価できる。引き続き、利用者の意見を取り入れながら、利用者の満足度をより高めることを期待する。特に、Wi-Fi設備の導入・増設や、部屋の予約（申請）方法に関する意見については、感染症対策の観点からも検討を進めてもらいたい。
- ・施設の収支については、施設管理経費が増加する中で効率化を図り、人件費の圧縮等により収支を改善した点を評価する。
- ・今後も、利用者が安全・安心に利用できる施設として、感染症対策を徹底しながら運営するとともに、コロナ禍で減少した施設利用者を増加させられるような様々な工夫を講じていただきたい。

### 総合評価（自動判定）

**A**

(75/100)

